

# 特集

# 詐欺を防ぐのは、あなたです。

## ちよつと待って！その電話「詐欺」かも

市内では、今年に入ってから、ニセ電話詐欺被害に遭う人が急増しています。手口は日々多様化・巧妙化していて、現在ではカード回収型の預貯金詐欺が横行し、私たちの生活を脅かしています。「自分は大丈夫」と思い込まず、被害に遭わない心がけをしましょう。

今回の特集では、詐欺被害から身を守るために、詐欺の手口について知り、私たちができることを考えます。詳しくは、大垣警察署（☎78-0110）または、市消費生活相談室（☎75-3371）へ。

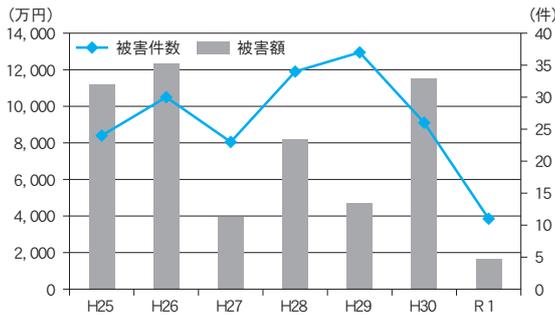
## ニセ電話詐欺とは

「ニセ電話詐欺」は、面識のない不特定多数の人に電話などで、預貯金口座への振り込みやその他の方法で現金をだまし取る詐欺の総称。主に「預貯金詐欺」「オレオレ詐欺」「架空料金請求詐欺」「還付金詐欺」「融資保証金詐欺」などがあります。

## 多額の被害

令和元年中の大垣警察署管内でのニセ電話詐欺の被害件数は11件で、前年より15件減少し、被害額も約1,647万円と前年より約9,903万円減少しています。しかし、今年に入ってから、高齢者を狙った被害が多く発生しており、1人で400万円だまし取られたケースもあります。

■大垣警察署管内の被害状況（大垣警察署調べ）



## ニセ電話詐欺の主な種類

### ① 預貯金詐欺

警察官、銀行協会職員などを名乗り、「あなたの口座が犯罪に利用されています。キャッシュカードの交換手続きが必要ですよ」と言ったり、市役所職員などを名乗り、「医療費などの過払い金があります。こちらで手続きをするのでカードを取りに行きます」などと言って、暗証番号を聞き出しキャッシュカードなどをだまし取る手口です。



### ② オレオレ詐欺

電話で親族や会社の上司、警察官、弁護士などを装い、会社でのトラブルや交通事故の示談金として現金を預金口座に振り込ませたり、宅配便や郵送などで送金させたりしてお金をだまし取る詐欺。最近では、金融機関などで振り込む「振込型」から「弁護士」や「会社の上司」をかたり、自宅や指定場所で直接現金を受け取る「現金受取型」が主流となっています。



### ④ 還付金詐欺

市役所や税務署などの公的機関をかたり、「医療費の過払い金があり、支払い過ぎていた分を返します」などと必要な手続きを装って、電話をかけてきます。その際に、「還付手続きの期限は今日までなので、急いで手続きをお願いします」などと言葉巧みにATM（現金自動預け払い機）へ誘導し、犯人の口座にお金を振り込ませようとします。



### ③ 架空料金請求詐欺

不特定多数の人に「サイト利用料金の未納がある」「無料期間が終了しているのに退会手続きがとられていない」など、ありもしない内容を口実として郵便やメールなどが送られ、今すぐ料金を支払うよう請求し、お金をだまし取る詐欺。被害者の傾向としては、20代、30代の比較的若い人が多いのが特徴です。



### ⑤ 融資保証金詐欺

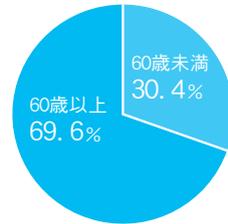
実際には、融資する意思がないにもかかわらず「誰でも融資します」「簡単な審査で融資可能」「担保不要」などと記載したファクスやハガキなどで融資を誘い、申し込んできた人に「手数料」や「保証金」の名目でお金を口座に振り込ませようとします。



## 高齢者は要注意

平成30年中の大垣警察署管内でのニセ電話詐欺の被害年齢の割合を見ると、60歳以上が約7割と全体の半数以上を占めています。特に、「預貯金詐欺」や「還付金詐欺」は、60歳以上の高齢者を標的に、言葉巧みに金銭を要求する傾向にあります。

■平成30年中の大垣警察署管内での被害年齢の割合（大垣警察署調べ）



## 若い世代でも多発

だましの手口は、多種多様にわたり、高齢者だけではなく若年層にも被害が拡大。現金の受け渡し方法も従来の「振込型」や「現金受取型」に加え、コンビニエンスストアなどで購入できる電子マネー（プリペイドカード）を悪用するものが増加しています。